

目 次

I	低コスト林業技術の構築	
	しいたけ原木の安定供給に向けたコナラ林の利用促進と更新技術の開発(第1報)	1
II	マツ林保全による海岸林の再生	
	抵抗性マツの改良(第25報)	3
	海岸クロマツの低密度植栽に関する試験(第2報)	5
	樹幹注入による森林病虫害防除試験(第2報)	7
III	里山資源の利用促進	
	漆生成メカニズムに基づく高品質漆の開発 ーウルシの萌芽更新による早期再生技術の確立ー(第4報)	9
	日本の漆文化を継承する国産漆の増産、改質・利用技術の開発(第2報)	11
IV	県産材の利用促進	
	県産能登ヒバ・スギ・ハイブリッドCLTの最適製造技術の確立(第2報)	13
	県産スギ・能登ヒバ材の天然乾燥手法の確立(第3報)	15
	熱可塑性炭素繊維を活用した複合木製品の開発(第1報)	17
	要求性に応じた木材を提供するため、国産大径材丸太の強度から 建築部材の強度を予測する技術の開発(第2報)	19
V	スギ・アテ林業の再生	
	無花粉スギの選抜と育成(第3報)	21
	漏脂病に強い県木アテの選抜(第4報)	23
	育林技術試験(第21報)	25
VI	竹林の管理と利用	
	侵略的拡大竹林の効率的な駆除法と植生導入技術の開発(第3報)	27
VII	森林の公益的機能の評価	
	環境林モニタリング調査事業(第8報)	29
VIII	基礎的研究	
	酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査(第16報)	31
	森林情報処理調査(第24報)	33
IX	その他	
	1 気象部門	
	気象観測調査	35
	2 研修部門	
	林業技術研修等	37
	林業緑化相談	40
	3 一般業務	
	組織	41
	予算	43
	石川ウッドセンター使用料・手数料収入	44
	主な行事	44
	利用者数	44